

2026 年 5 月 21 日

(一社) 全国消費者団体連絡会  
事務局長 郷野 智砂子

2026 年 5 月 28 日開催

令和 8 年度 第 2 回食品衛生基準審議会新開発食品調査部会

## 細胞培養食品(仮称)の安全性についてのコメント

今般、消費者庁で「細胞培養により製造される食品（細胞培養食品(仮称)）について」検討を進めることに関して、消費者の立場から以下の通りコメントいたします。

### 1. 安全性の確保について、慎重かつ丁寧に進めてください

これまでの調査部会における検討の過程で、あらゆるハザードを想定し、専門的見地から安全性担保を前提とした取りまとめが行われている経緯を承知しています。また、ガイドラインが策定され運用されることについて賛同すると共に、検討に携わった関係各方面の皆さまのご尽力に感謝いたします。

一方で、消費者にとっては、たとえ科学的に何ら問題はないと言われても、未知の領域に等しいものであるため、「従来の食品とは異なるリスクがあるのではないか」という不安があります。

また「ガイドラインに基づき安全に製造されていれば一般的な食品と同様に安心して食べられるものである」とは簡単に理解・納得できないことも確かだと思えます。

このような点を踏まえ、細胞培養食品の安全性の確保について、急ぎ過ぎず丁寧な進め方がされること、そして今後も新しい知見があれば、継続的にリスク管理に反映しながら、安全性の評価と管理を進めていただくよう求めます。

手続きの形態（類型 1～4）については、新しい技術による未知の食品であることを考慮し、初期の段階では、国や専門機関が安全性や製造方法を個別に確認する「審査」を基本にするべきと考えます。まずは「安全が確認されたものだけが流通する」という事実をもとに消費者が安心できるよう、信頼関係を築く取り組みをしていただくことが重要です。その後、製造実績や流通データを蓄積しながら、安全性の基準が確立してきた段階では「届出」へと手続きを移行する可能性も有り得ると考えますが、その場合も慎重な検討をお願いします。

### 2. 開発の目的や、消費者メリットを明確に、

#### 細胞培養食品が必要とされる背景や有用性、開発の目的などを消費者に正しく伝えてください

具体的には、従来の畜産と比較し、①環境負荷の低減やサステナビリティの向上の面でどのような貢献があるのか、②栄養・健康面のメリットが期待できるのか、③倫理的な観点（アニマルウェルフェア）における優位性がどのくらいあるのか、④食料安全保障の観点から新たなタンパク質源としての意義がどのくらいあるのか、⑤従来の畜産における生産方法への影響の有無はどうか、⑥価格の面で消費者への貢献があるのか、その他、想定されるすべての観点から、消費者の生活や社会にどのような利点があるかを見極め、分かり易い説明をしてください。

### **3. 消費者が取捨選択できる権利を確保し、選べる仕組みを確実に整えてください**

科学的に安全との評価があったとしても、消費者が「未知の技術で作られ出された食品を知らずに食べていた」ということがもしあれば、この技術全体に対して信頼を損なう結果となりかねません。そのためには、表示義務化の可能性も含め「表示手段の確立」と「情報開示の整備」について、きちんとしたルール作りを行ってください。細胞培養食品であることを明確に表示し、従来の肉製品と区別できることが、「消費者自身の選ぶ権利の確立」につながります。

また、今後市場に流通される段階では、どのような名称・様式で流通するのか、一般的な食肉として単体で扱われるのか、加工品の原材料の一部にもなり得るのか、外食産業で頻繁に利用されるようになるのかなど、今の時点では予想が付きません。それらを網羅し、たとえどのような場合であっても情報がすべて開示され、消費者が自分で選ぶことができる環境を整えてください。消費者が自分の判断力を発揮できる状態と、そうでない不可抗力の状態が混在するのは、不安の解決になりません。

### **4. 透明性の高いリスクコミュニケーションを継続してください**

開発事業者や行政から、安全性に関する情報や懸念事項について、透明性の高い説明があるかどうかで、消費者の理解の状況が左右されるものと考えます。消費者自身が自主的に知識の習得をし、新しい技術の特徴や安全性に関するガイドラインへの理解を深め、自らの判断材料とする姿勢が、何より重要と考えます。

また名称・呼称については、これまで様々に議論が行われ「細胞培養食品」が仮称として選ばれたことを承知しています。しかしながら消費者にとっては「細胞培養」「培養肉」「細胞性食品」といったどの呼び方も「怖いイメージが先行する」という声がありました。こうした率直な受止めや感じ方についても丁寧なフォローが必要だと思えます。製品の名称の問題は、表示にも直接関わってくる重要な問題です。消費者への分かりやすさと安心を基準に、適切な用語や定義の検討をお願いします。

以上申し上げた数々の点を踏まえ、時間がかかっても、丁寧な説明を重ねることが、信頼の向上につながると考えます。開発事業者による努力のプロセスが、消費者の信頼の向上に結び付くよう、丁寧なリスクコミュニケーションを進めていくことが重要です。

以上